

白 亜 通 信

NO.5 2009.9.1

会長あいさつ

会長 菅 和 利（土木工学科教授 昭和45年卒業）

卒業生各位におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

白亜会の会長を務めております菅でございます。

今年の九州、中国地方の豪雨、地すべり災害、東海地方の地震など災害被害への対策、災害リスクマネジメントでの土木技術者の役割は益々重要になってきています。他方、土木業界への風当たりは厳しく、経営の多角化を余儀なくされてきています。卒業生相互の連携、情報交換を密にする「白亜会」の重要性は高くなってきています。

11月20日（金）新装成った芝浦キャンパスで第6回総会を開催します。万障お繰り合わせの上、ご参加ください。11月の総会で皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

土木工学科も新任のOB教員を二名迎え入れることが出来、学科としても多角化、多様化での教育・研究力の強化を図っています。

小生も研究分野の多様化を目指して、東京大学、東京工業大学、琉球大学、芝浦工業大学が共同でパラオでの調査研究をスタートさせました。道路建設、都市の開発に伴う土砂流出が湾内の水質と珊瑚への影響が危惧され始めています。農地開墾、農村の生活形態の変化も自然環境に影響を与えています。パラオ国民が大事に守ってきた自然環境が自らの生活の変化に伴って少しずつ変化してきており、科学的、工学的視点での検証と持続ある発展へのシナリオが必要です。我々が経験し、乗り越えてきた開発と保全での科学的、技術的、社会的知識がパラオのこれからは役立つと思いました。

グアムよりさらに南に位置するパラオ共和国を含む太平洋の島国・地域には14の国があり、日本との関わりの深い重要な地域です。それぞれの国家は国土が狭く、多くの島に分散しているために国際市場から地理的に遠く、色々な困難な課題を有しています。経済成長、持続可能な開発、良い統治、安全確保を重視した取り組みが「パシフィック・プラン」として実施されています。2009年の第5回太平洋・島サミット（北海道）では、パシフィック・プランを踏まえつつ、環境・気候変動・水と衛生などこれらの国が抱える諸問題への協力策を打ち出しています。このサミットに先立って東京で開催された円卓会議、懇親会に参加することが出来、パラオ共和国ジョンソン・トリビオン大統領ともお会いできました。



パラオ共和国
ジョンソン・トリビオン大統領



海岸近くのゴミ処分場（廃液等による汚染が懸念される）

第6回 白亜会総会のお知らせ

第6回 芝浦土木卒業生の会「白亜会」総会

- 日 時：2009年11月20日（金）
- 場 所：「芝浦工業大学 芝浦キャンパス」
（JR田町駅東口下車徒歩3分）
- 会 費：10,000円（名簿代込み）
- プログラム：・代議員会 15：00～ ・総会記念講演 16：00～
・総 会 18：00～ ・懇 親 会 19：00～

★総会記念講演会（16：00～）

講師 ロボットデザイナー 松井 龍哉（まつい・たつや）氏

〈講師略歴〉

1969年 東京生まれ。1991年日本大学芸術学部卒業。
1991年～1996年 丹下健三・都市・建築設計研究所に勤務後渡仏。
1998年 Ecole nationale superieure de creation industrielle、IBM・Lotus フランス社研究員。
1999年より 科学技術振興事業団・ERATO 北野共生システム プロジェクト研究員として
ロボットデザインに携わり、ヒューマノイドロボット「SIG」「PINO」でグッドデザイン賞受賞。
2001年 フラワー・ロボティクス株式会社を設立。ロボット「Posy」「P-noir」「Palette」
「Platina」等のロボットの研究開発に注力する。
ロボットの他、北陸銀行東京渋谷支店店舗設計、イタリア・レオナルド・ダ・ビンチ国立科学館インテリアデザイン、
Dunhill 銀座店舗設計など建築設計や航空会社スターフライヤー社の航空機から CI 計画、ラウンジ、プロダクトにいたるトータルデザインをしている。
ベネチア・ビエンナーレ国際建築展招待出展。
ニューヨーク近代美術館特別企画展出展等多数。
2002年より 早稲田大学理工学部非常勤講師。
2007年より 日本産業デザイン振興会 G マーク審査委員。



◆2009年度版 土木卒業生名簿発刊について

白亜会の名簿は、この会の設立趣旨である『土木工学科、及び前身学校の卒業生の方々の相互の懇親を図るとともに、土木工学科として皆様の活躍の様子を的確に把握する』のために重要な名簿です。

現在発刊している名簿に掲載されている項目は、

- ① 卒業生の氏名
- ② 自宅住所
- ③ 自宅電話
- ④ 勤務先、所属、役職
- ⑤ 勤務先電話
- ⑥ E-mail
- ⑦ 連絡の付かない不明者名
- ⑧ 物故者名、

です。なお、勤務先、住所ともに掲載を許諾しない方は、不明者扱いにさせていただきます。

また、この名簿は白亜会会員には3,000円で販売しておりますが、会員以外には販売していません。

現在、「2009年度版会員名簿」を2009年11月20日の第6回総会にあわせて発刊する準備を進めています。新しい名簿の発刊に際し、住所・勤務先等現在の掲載内容の確認と共に、掲載項目の許諾を問い合わせさせていただきます。名簿掲載に許諾できない場合には、該当する項目の口内に×印をしてください。

個人情報保護法の下、使用目的に沿って管理と取り扱いには十分に注意を払っております。

*** 充実した名簿の作成にご協力下さい。***

支部たより

「M6. 5 静岡県沖地震（震度6弱）を経験して」

白亜会静岡支部長 鈴木和幸（昭和50年卒）

平成21年8月11日（火）午前5時07分

駿河湾を震源（深さ20Km）とするマグニチュード6.5 震度5強～6弱の地震が発生。

普段、私は6時過ぎに起床していますが、この日はなぜか5時に目が覚めて、うとうとしていました。すると、ガタガタガタと家が揺れ、地響きが聞こえたかのような中で飛び起きました。「とうとう東海地震が来たか。」と覚悟しました。揺れが治まるやいなや「お父さん大丈夫。」と娘の声が聞こえたので、我にかえり3階から2階へ降り、テレビのスイッチをONに、女房の安全を確認しました。静岡では地震が発生すると、すぐにテレビを付けます。TV局勤めの娘は、すでに局へ入社していました。

地震発生から数分間は携帯電話での連絡が取れたのですが、その後は7時すぎまで不通になりました。一部の人はメールと災害伝言ダイヤルを使用したようです。そんな中でも固定電話はしばらく使用できました。

会社では毎年、防災訓練の一環で災害伝言ダイヤルやメールを使用した練習を繰り返していましたが、今まで行っていたことは「つくづく訓練のための練習」をしていたんだと思い知りました。

ところで、今回の地震の影響は東名高速の牧之原で盛土の崩壊で115時間の通行止めがあり、やはり東名高速は日本の東西を結ぶ大動脈であるということを再認識しました。原因の一つとしては、法尻に造られている擁壁の水抜きパイプが排水機能を果たしていなかったため、盛土内部に連日の降雨による水分が蓄積され軟弱化し、地震による振動で崩壊した可能性があるということです。

連日連夜、マスコミに報道された今回の復旧工事に携わった関係者のご苦労は察しがたいものがあります。

現在は少子高齢化による税収の落ち込みや世界的な不況で公共事業費の削減が続いています。

このような背景の中で、現有している社会資本の事後保全的な維持管理から、予防保全的な維持管理へ移行し、社会資本の長寿命化を図り、安全で安心して使用できる社会資本整備を我々土木技術者が担ってゆくことになるでしょう。



昭和34年卒業の方たちが卒業40周年を記念してのクラス会で豊洲キャンパスの見学に見えられました。久しぶりに学生時代に戻ってショートレクチャーを受けました。皆さんがいつまでも元気で活躍されることを願っています。



静岡支部総会を2008年10月25日に開催しました。鈴木支部長、高杉副会長も出席され、現地見学に続く懇親会・総会に盛り上がりました。12月には柿田川湧水群の見学会も開催し、活発な活動を行っています。

芝浦キャンパスが開校しました

新しくできたデザイン工学部のキャンパスとして、平成21年4月、旧芝浦校舎跡地に新校舎がオープンしました。本学の歴史と伝統を支えてきた芝浦の地の新キャンパスは、産学連携、教育・研究活動を通じた実践型技術者育成の拠点として進化していきます。

当地は、大学棟（A街区）、オフィス棟（B街区）、ホテル棟（C街区）の3つの街区を、芝浦RENASITE（ルネサイト）として再開発されたもので、大学として地域のまちづくりに貢献しています。



土木工学科の動き

◆土木工学科 若い新人教員紹介

伊代田 岳史 助教（平成9年芝浦工業大学卒）

マテリアルデザイン研究室

＜伊代田先生より一言＞

2009年4月より助教として赴任してまいりました、伊代田と申します。専門はセメントやコンクリートに代表される建設材料の設計・開発と利用方法の検討がメインです。母校への恩返しも含めまして、社会に役に立つような人材育成に力を発揮できればと思っております。不慣れな職でいろいろとありますが、精一杯頑張っていこうと思っておりますので、ご支援やご協力などよろしくお願い申し上げます。



中川 雅史 助教（平成12年芝浦工業大学卒）

ジオインフォマティクス研究室

＜中川先生より一言＞

2009年4月より助教として赴任してまいりました。芝浦工大の中澤研で測量分野を、東大では空間情報（測量・GIS・リモセン）分野を、産総研ではロボット分野に携わりました。芝浦工大では、地球や都市をまるごとコピーして様々な分野に活かす、「ジオインフォマティクス」をはじめました。経験豊富な先生・OB方や吸収力豊富な学生たちと協力して、「優秀な技術者を増やす」というのを目標に頑張ります。



白亜会運営のための寄付のお願い

白亜会総会も第6回目を迎えようとしており、これもひとえに卒業生諸氏のご協力の賜物と感謝いたしております。

さて、ご承知の通り、白亜会の運営費用は名簿の発刊と総会と卒業生各位の善意の寄付によって賄われております。建設業界は非常に厳しい時代を迎えており、これ以上の負担をおかけするのは心苦しく思いますが、「善意の一灯」をお願いいたします。同封いたしました振込用紙の名簿代及び総会参加費に寄付金を加えていただければ幸いと存じます。善意の積み重ねが大きく実ります。卒業生の数は力です。よろしくお願いいたします。

なお、白亜会も益々皆様のご希望に添えるような会に発展するよう鋭意努力するつもりでおります。ご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2009年9月吉日
白亜会 会長 菅 和利
幹事一同

発行 芝浦土木卒業生の会（白亜会）事務局

〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5 芝浦工業大学土木工学科内

電話 03-5859-8400 FAX:03-5859-8401

<http://www.db.shibaura-it.ac.jp/>